



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プレサンスコーポレーション  
コード番号 3254 URL <http://www.pressance.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長  
四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山岸 忍  
(氏名) 土井 豊

TEL 06-4793-1650

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,170	△22.1	4,218	7.7	4,136	7.2	2,358	7.4
23年3月期第2四半期	22,044	36.9	3,917	25.0	3,856	24.7	2,196	26.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,359百万円 (7.7%) 23年3月期第2四半期 2,189百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	156.84	—
23年3月期第2四半期	148.50	148.40

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	50,763	24,837	48.9
23年3月期	45,676	22,845	50.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 24,829百万円 23年3月期 22,845百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,505	7.1	6,529	19.1	6,230	17.0	3,414	14.8	227.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	15,039,400 株	23年3月期	15,039,400 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	15,039,400 株	23年3月期2Q	14,788,000 株

(注) 当社は、平成23年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。なお、前連結会計年度末及び前年同四半期連結累計期間に係る株式数は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成23年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。なお、「1. (1)連結経営成績」の「23年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益」及び「2. 配当の状況」の「23年3月期年間配当金」は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 受注の状況 .....	10
(2) 販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災によるサプライチェーンの寸断や、原発事故による電力供給の制約の影響から、経済活動が停滞しております。また、円高の進行による企業収益の悪化、欧州の財政危機に加え、米国経済の減速懸念により企業をとりまく経営環境は厳しくなっており、先行き不透明感が拭えない状況であります。

当不動産業界におきましては、震災の影響による消費マインドの低下が懸念されておりましたが、低金利政策、住宅ローン減税政策、住宅資金贈与非課税枠の拡大政策が継続して実施されていることから、適正価格で販売している顧客のニーズに合致したマンションの契約率については、堅調に推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、東京都及び沖縄県にてファミリーマンション事業を展開する等、営業エリアを拡大するとともに、来期以降の収益を確保するために、健全な財務基盤を活かして、積極的に開発用地を取得いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高17,170百万円（前年同期比22.1%減）、営業利益4,218百万円（同7.7%増）、経常利益4,136百万円（同7.2%増）、四半期純利益2,358百万円（同7.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (不動産販売事業)

不動産販売事業におきましては、ワンルームマンション「プレサンスシリーズ」のプレサンス名古屋STATIONビジュ（総戸数129戸）、ファミリーマンション「プレサンスロジェシリーズ」のプレサンスロジェ東京湊（総戸数33戸）、プレサンスロジェ宜野湾レーヴ（総戸数58戸）等の販売が順調に推移いたしました。その結果、ワンルームマンション売上高8,388百万円（539戸）、ファミリーマンション売上高3,597百万円（118戸）、シニア向けマンション売上高1,760百万円（64戸）、一棟販売売上高1,270百万円（116戸）、その他不動産販売事業収入1,349百万円（77戸）となり、不動産販売事業の合計売上高は16,366百万円（前年同期比23.0%減）、セグメント利益は4,012百万円（同7.6%増）となりました。

#### (その他)

その他の不動産賃貸事業等におきましては、自社保有物件が堅調に稼働いたしました。その結果、その他の売上高は804百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は406百万円（同2.6%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて5,415百万円増加し、47,970百万円（前期末比12.7%増）となりました。その主な要因は、積極的に開発用地を取得したことにより仕掛販売用不動産が2,306百万円増加し、マンション販売が順調に推移したことにより現金及び預金が2,924百万円増加したことです。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて328百万円減少し、2,792百万円（前期末比10.5%減）となりました。その主な要因は、賃貸不動産として開発しておりました神戸市垂水区の物件を保有目的の変更に伴い、建設仮勘定から仕掛販売用不動産に369百万円振替えたことです。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて3,095百万円増加し、25,925百万円（前期末比13.6%増）となりました。その主な要因は、ファミリーマンションの販売活動が順調に進捗していることにより、前受金が841百万円増加したこと、開発用地の取得に伴い、金融機関からの借入金が1,842百万円増加したことです。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1,991百万円増加し、24,837百万円（前期末比8.7%増）となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上等に伴い、利益剰余金が1,982百万円増加したことです。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ2,914百万円増加し、14,653百万円（前期末比24.8%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。  
（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は1,470百万円（前年同期は2,735百万円の増加）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が4,136百万円あったこと、ファミリーマンションの販売活動が順調に進捗し、前受金が841百万円増加したことにより資金が増加したのに対して、積極的な開発用地の取得により2,234百万円、法人税等の支払により1,102百万円資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は23百万円（前年同期は88百万円の減少）となりました。

これは主に、定期預金を10百万円預入れたこと、固定資産を11百万円購入したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は1,468百万円（前年同期は997百万円の増加）となりました。

これは主に、積極的に開発用地を取得したことに伴い、金融機関からの借入金が1,842百万円増加したことによるものであります。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力事業であるマンション販売事業は、顧客への引渡しをもって売上が計上されるため、四半期ごとに当社グループの業績を見た場合、物件の引渡し時期に伴い業績に偏重が生じる傾向があります。なお、現時点においては平成23年5月9日発表の連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

#### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

#### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（法人税等の計上基準）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

#### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,788,661	14,713,479
受取手形及び売掛金	32,496	35,967
販売用不動産	4,727,094	5,024,089
仕掛販売用不動産	25,365,560	27,671,847
原材料及び貯蔵品	29,055	53,116
その他	612,811	472,337
流動資産合計	42,555,679	47,970,838
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産（純額）	2,077,515	2,034,349
建設仮勘定	368,249	—
その他（純額）	195,806	195,243
有形固定資産合計	2,641,570	2,229,592
無形固定資産	3,543	3,503
投資その他の資産	475,548	559,154
固定資産合計	3,120,663	2,792,250
資産合計	45,676,342	50,763,088
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	888,154	873,335
1年内返済予定の長期借入金	4,146,200	2,723,800
未払法人税等	1,118,896	1,802,689
前受金	1,319,666	2,161,011
賞与引当金	42,245	51,410
その他	1,110,950	826,395
流動負債合計	8,626,113	8,438,641
固定負債		
長期借入金	13,930,000	17,195,200
役員退職慰労引当金	274,285	291,785
固定負債合計	14,204,285	17,486,985
負債合計	22,830,398	25,925,626
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,228,814	1,228,814
資本剰余金	1,158,814	1,158,814
利益剰余金	20,457,752	22,440,559
株主資本合計	22,845,380	24,828,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563	1,164
その他の包括利益累計額合計	563	1,164
新株予約権	—	8,109
純資産合計	22,845,943	24,837,461
負債純資産合計	45,676,342	50,763,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	22,044,647	17,170,779
売上原価	15,682,563	10,124,020
売上総利益	6,362,084	7,046,759
販売費及び一般管理費	2,444,253	2,828,672
営業利益	3,917,830	4,218,086
営業外収益		
受取利息	1,230	1,638
受取配当金	288	163
違約金収入	16,972	32,733
その他	12,674	14,949
営業外収益合計	31,165	49,484
営業外費用		
支払利息	92,100	131,481
営業外費用合計	92,100	131,481
経常利益	3,856,896	4,136,089
特別利益		
固定資産売却益	495	—
特別利益合計	495	—
特別損失		
固定資産売却損	83	—
固定資産除却損	1,122	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,500	—
特別損失合計	25,706	—
税金等調整前四半期純利益	3,831,684	4,136,089
法人税等	1,635,622	1,777,297
少数株主損益調整前四半期純利益	2,196,062	2,358,792
四半期純利益	2,196,062	2,358,792

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,196,062	2,358,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,318	600
その他の包括利益合計	△6,318	600
四半期包括利益	2,189,744	2,359,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,189,744	2,359,392
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,831,684	4,136,089
減価償却費	77,614	54,894
株式報酬費用	—	8,109
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,750	9,164
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17,000	17,500
受取利息及び受取配当金	△1,519	△1,802
支払利息	92,100	131,481
固定資産売却損益 (△は益)	△411	—
固定資産除却損	1,122	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,500	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,223,797	△2,234,232
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,867,492	△14,819
前受金の増減額 (△は減少)	△319,446	841,344
未払消費税等の増減額 (△は減少)	309,503	△223,372
未収消費税等の増減額 (△は増加)	215,347	△1,036
その他	△84,829	△17,420
小計	3,533,721	2,705,899
利息及び配当金の受取額	1,798	2,116
利息の支払額	△92,151	△135,685
法人税等の支払額	△707,686	△1,102,001
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,735,682	1,470,328
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△50,000	△10,000
固定資産の取得による支出	△40,568	△11,722
固定資産の売却による収入	2,282	—
投資有価証券の取得による支出	△709	△1,851
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,995	△23,573
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	390,000	—
長期借入れによる収入	6,041,000	6,005,000
長期借入金の返済による支出	△5,064,800	△4,162,200
配当金の支払額	△368,891	△374,736
財務活動によるキャッシュ・フロー	997,308	1,468,063
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,643,995	2,914,818
現金及び現金同等物の期首残高	7,514,335	11,738,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,158,330	14,653,479

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	不動産販売事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	21,247,210	21,247,210	797,437	22,044,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	21,247,210	21,247,210	797,437	22,044,647
セグメント利益	3,728,660	3,728,660	395,940	4,124,601

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸・仲介・管理、損害保険代理業、マンションの内装工事等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,728,660
「その他」の区分の利益	395,940
全社費用（注）	△206,770
四半期連結損益計算書の営業利益	3,917,830

(注) 全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	不動産販売事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	16,366,628	16,366,628	804,151	17,170,779
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	16,366,628	16,366,628	804,151	17,170,779
セグメント利益	4,012,006	4,012,006	406,234	4,418,240

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸・仲介・管理、損害保険代理業、マンションの内装工事等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	4,012,006
「その他」の区分の利益	406,234
全社費用（注）	△200,154
四半期連結損益計算書の営業利益	4,218,086

（注）全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 受注の状況

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

セグメント の名称	区分	契約高				契約残高			
		数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)	数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)
不動産 販売事業	ワンルーム マンション	408	109.1	6,501,677	111.3	88	80.7	1,395,900	85.6
	ファミリー マンション	118	142.2	3,746,297	159.3	112	175.0	3,413,063	215.0
	シニア向け マンション	98	79.0	2,887,244	71.3	49	36.6	1,370,483	31.4
	一棟販売	258	460.7	2,637,055	435.5	169	65.8	1,733,051	58.8
	その他 不動産	43	93.5	1,248,568	90.2	1	10.0	393,444	271.7
報告セグメント計		925	135.4	17,020,842	119.6	419	73.0	8,305,942	77.7

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

セグメント の名称	区分	契約高				契約残高			
		数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)	数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)
不動産 販売事業	ワンルーム マンション	396	97.1	6,280,600	96.6	85	96.6	1,323,300	94.8
	ファミリー マンション	600	508.5	16,601,500	443.1	943	842.0	26,819,508	785.8
	シニア向け マンション	57	58.2	1,514,226	52.4	21	42.9	651,044	47.5
	一棟販売	89	34.5	1,067,379	40.5	209	123.7	2,542,579	146.7
	その他 不動産	75	174.4	1,397,610	111.9	17	1,700.0	961,108	244.3
報告セグメント計		1,217	131.6	26,861,317	157.8	1,275	304.3	32,297,539	388.8

- (注) 1. 本表におきまして「受注高」は「契約高」と読み替えております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 上記の金額には、追加工事の金額も含まれております。  
 4. 一棟販売とは、マンション一棟もしくはその一部をマンション販売業者に卸売する方法であります。  
 5. 「その他不動産」の数量には、中古物件等を含めております。  
 6. 前第2四半期連結累計期間の「その他不動産」の契約残高の内、381,850千円は土地の売却に関するものであります。  
 7. 当第2四半期連結累計期間の「その他不動産」の契約残高の内、540,895千円（3戸）は分譲マンション内の商業用店舗に関するものであります。  
 8. 報告セグメントに含まれない事業セグメントについては、該当事項はありません。

(2) 販売の状況

セグメント の名称	区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)				当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)			
		数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)	数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)
不動産 販売事業	ワンルーム マンション	556	92.5	8,697,838	86.7	539	96.9	8,388,500	96.4
	ファミリー マンション	180	857.1	6,562,705	781.3	118	65.6	3,597,752	54.8
	シニア向け マンション	78	169.6	2,390,761	157.8	64	82.1	1,760,003	73.6
	一棟販売	229	194.1	2,483,153	166.3	116	50.7	1,270,624	51.2
	その他 不動産	46	95.8	1,112,752	67.9	77	167.4	1,349,747	121.3
報告セグメント計		1,089	130.6	21,247,210	136.9	914	83.9	16,366,628	77.0
その他		—	—	797,437	135.4	—	—	804,151	100.8
合計		1,089	130.6	22,044,647	136.9	914	83.9	17,170,779	77.9

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額には、追加工事の金額も含まれております。  
 3. 一棟販売とは、マンション一棟もしくはその一部をマンション販売業者に卸売する方法であります。  
 4. 「不動産販売事業」における「その他不動産」の数量には、中古物件等を含めております。